

「たんぽぽの野原で遊んだよ」の教材研究

北海道・帯広市立東小学校 佐々木 智穂

chi-ho@pop02.odn.ne.jp

今年の1月1日に、TOSS-SNSにて酒井先生が新シナリオを公開された。

それが「たんぽぽの野原で遊んだよ」である。



お正月ボケをしていた私は一気に目が覚め、これは描いてみなくては！とやる気モードになった。

教材研究その1

思い立ったが吉日で、家にあった「うすあお」の画用紙を使って描いてみることにした。

まず、青い画用紙に刷毛でさっと風の流を描く。その後に、丘の部分に緑色



の画用紙を貼る。

それができたら、コピー用紙に人物を描いてクレヨンで彩色し、切り取る。



人物のポイントは、首を描くこと。首を描くとふうーっと息をはく様子に力がこもる。手は、たんぽぽの茎を持たせるが、切り取る時に大変なので、手だけ切り、画用紙に直接茎を描くことにした。

切り取った人物を先ほどの色画用紙に貼る。そして、たんぽぽの茎や種の部分をサインペンで描いた。

この時難しかったのは、たんぽぽと人物の口の位置の距離感である。この後、綿毛を描いていくので近すぎではいけない。子どもたちが戸惑いそうだった。



次に丘にたんぽぽの花を描いていった。遠近感が出るように手前を大きめ、奥を小さめに描いた。

綿毛になったたんぽぽも描いていく。

最後は、メインの綿毛である。面相筆を使って丁寧に描いていった。人物が持っている綿毛については、2回くらい白を重ねてふわふわ感を出した。

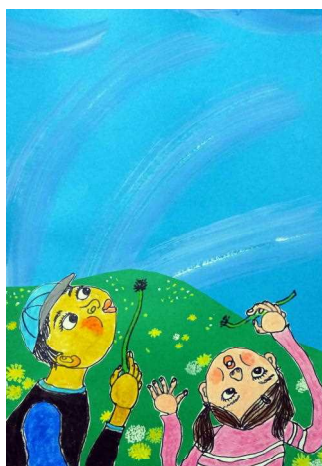
同様に、横バージョンも描いてみた。



しかし、私の作品は、酒井先生のように綿毛の白が際立ってこない。

そこで、SNS に次のように書きこみしてみた。

酒井先生、早速描いてみました。
しかし、いまいち綿毛の美しさが出ませ



んでした。青ではなく、うすあおの画用紙を使ったからかもしれません。今度は、ちゃんと青画用紙を使って挑戦してみようと思います。

すると、すぐに次のように返信をくださった。

さすが智穂さん早い！！

薄い画用紙の場合は、刷毛でかける色を濃くすればいい訳です。濃い画用紙の場合は、うす気味でもいいです。

あとは素敵にできましたね。

なるほど！なんとも私は頭が固い。

酒井先生のコメンから、かける色でなんともなるということを私は学んだ。

教材研究その2

そして描いたのが次の作品である。



この絵に対していただいたのが次のコメントである。

これの方が綿毛が映えますね。しかし、前のものも空の明るさ綿毛のはかなさ？のようなものが出ていていいですね。そのあたり絵の奥深いところです。

酒井式は、法律的ではない。どの絵にも良さがある。そこを酒井先生からまた、学んだ。目から鱗が落ちた教材研究だった。

酒井式の峰はまだまだ高い。